

水道管の凍結にご注意を

①凍結しやすい場所はどこ？

- 水道メーターや給湯器など水道管が露出しているところ
- 日当たりの悪いところ
- ベランダなどの風当たりの強いところ



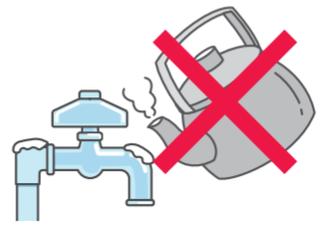
②凍結を防ぐためには？

1. 特に冷え込みが予想されるときは、浴槽などの蛇口から少しずつ水を出し続けてください（溜まった水は洗濯などにお使いください）。
2. 露出した水道管（蛇口）に市販の保護材や布を巻いてその上にテープやガムテープなどを巻きつけてください。**ダンボールをかぶせるとより効果的**です。



③凍結してしまったら？

1. 気温の上昇によって自然に融けるのを待ちます。
2. タオルをかぶせ、ぬるま湯をゆっくりかけて解凍してください（水道管などに**熱湯をかけると破損する可能性**があります）。



④水道管が破裂してしまったら？

1. 水道メーターの横にある止水栓を閉めてください。または、漏水箇所に布やテープを巻きつけて応急処置をしてください。
2. その後、最寄りの上下水道局指定の給水装置工事業者（局ホームページ参照）に修理を依頼してください。（**修理費用はお客様のご負担です。**）

お問い合わせ 水道課 維持・補修グループ ☎783-1603

漏水調査の実施について

①目的

- 貴重な水資源の有効活用と、道路陥没等の二次災害防止のために漏水調査を実施しています。

②実施方法

- 市内を3分割し、3年で一巡するよう定期的に実施しています。
- 委託した専門業者が道路内の配水管から各家庭の水道メーターまでの水道管を調査します。

③調査時期

- 例年7月頃から2月頃に実施しています。

④調査内容

- 調査対象の方には、調査日時等を記載した「漏水調査のお知らせ」を投函します。
- 委託業者の調査員は、上下水道局が発行した写真付きの身分証明証を携帯し、漏水調査の腕章を着用しています。
- 水道メーターが敷地内にある場合は、調査員からお声をかけさせていただきますが、ご不在の場合においても可能な範囲で調査を実施させていただく場合があります。また、漏水が発見された場合のみ、**上下水道局より後日連絡をいたします。**
- この調査で**お客様への費用請求や、物品の販売等は、一切行っておりません。**皆さまには、漏水調査へのご理解とご協力の程よろしく申し上げます。



漏水調査の様子

お問い合わせ 水道課 維持・補修グループ ☎783-1603

雨水貯留タンク設置助成事業 ～雨水の有効活用～

浸水被害の軽減を図るため、市民と協働した雨水貯留タンクの設置事業を行っています。雨水貯留タンクを設置することで、貯めた雨水を家庭菜園や花壇の水やり、緊急時の生活用水などに有効活用することができます。

今年度の申請受付期間は令和6年1月31日をもって終了します。設置を検討されている方はお早めにお申し込みください。

助成対象

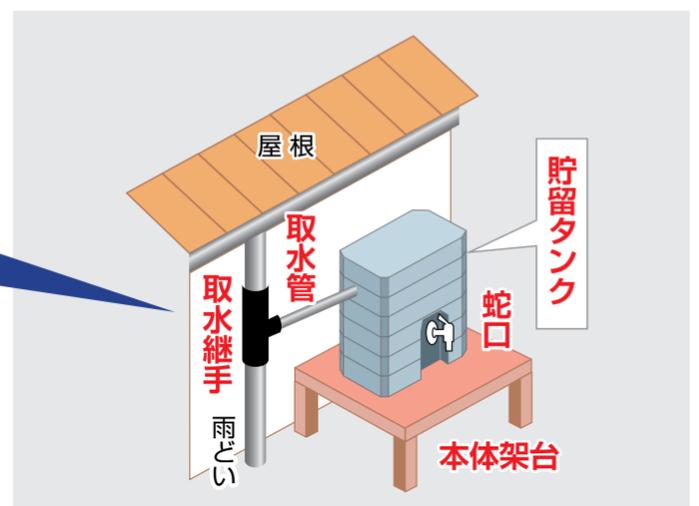
貯留量80L 以上

助成範囲

購入費及び工事費の2分の1以内で上限3万円（千円未満端数切り捨て）

赤文字の部分が
助成対象です。

お問い合わせ 下水道課 工務グループ ☎784-8074



お支払は納期限内にお願いします

納付書や督促状にある納期限内に支払いがなければ、給水停止の措置を行います。

さらに、市民負担の公平性を確保するため、資力があるにもかかわらず水道料金・下水道使用料等の納付がない滞納者に対しては、滞納整理を進めています。

もし、納期限内に納付することが困難な事情がある場合や、滞納分について完納に至るための納付方法について相談される場合は、上下水道局1階の水道サービスステーション（☎783-1601）までご連絡ください。



浄水課の仕事について

水道水の安定供給のために、毎日点検を行っています。

浄水課では安全・安心な水道水を安定供給するために、千僧浄水場内だけでなく、貯水施設や取水・導水施設などの場外施設についても毎日点検をしています。貯水池である昆陽池や瑞ヶ池の水質管理や河川水を浄水場まで送る導水ポンプの維持管理・点検を行っています。

浄水場見学について

新型コロナウイルス感染症対策として中止しておりました浄水場見学を再開しています。

また、水源から浄水処理を経て水道水になるまでを簡単に紹介する動画「ウォーターくんの旅～水道の水ができるまで～」については局ホームページから24時間いつでも観ることができますので、是非ご覧ください。



動画はこちらから



点検をしている様子

お問い合わせ 浄水課 浄水グループ ☎781-8589

令和4年度決算概要

令和4年度「水道事業」決算概要

決算書は局ホームページ「水道事業会計」をご参照ください▶



収益的収支 (水道水を供給する経費と財源)

収入 約36億2千万円



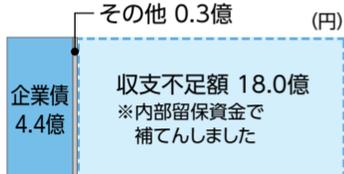
支出 約33億9千万円



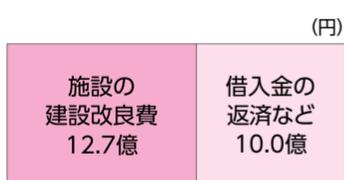
純利益 約2億3千万円
(今後の建設改良に備えて積み立てました)

資本的収支 (施設整備のための経費と財源)

収入 約4億7千万円



支出 約22億7千万円



※内部留保資金
減価償却費などにより事業内部に留保される資金や過去の純利益を積み立てたものです。

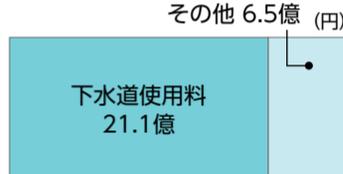
令和4年度「下水道事業」(汚水)決算概要

決算書は局ホームページ「下水道事業会計」をご参照ください▶



収益的収支 (下水道施設の運転・管理のための経費と財源)

収入 約27億6千万円



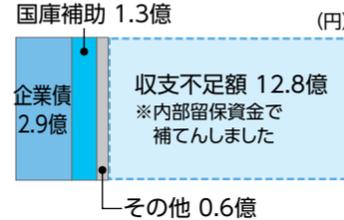
支出 約22億8千万円



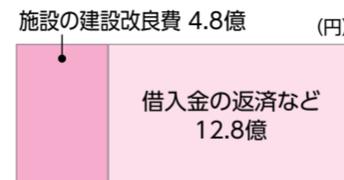
純利益 約4億8千万円
(今後の借入返済に備えて積み立てました)

資本的収支 (施設整備のための経費と財源)

収入 約4億8千万円



支出 約17億6千万円



※内部留保資金
減価償却費などにより事業内部に留保される資金や過去の純利益を積み立てたものです。

お問い合わせ 経営企画課 経営管理グループ ☎783-1600

水質検査結果のお知らせ

上下水道局では、水道法に定められている水質基準51項目(一般細菌など健康に関する項目31項目、亜鉛など性状に関する20項目)の水質検査を定期的に行っています。令和4年度はすべての項目で水質基準に適合しており、安全な水道水であることを確認しました。最新の水質検査結果の詳細は局ホームページに掲載しています。



お問い合わせ 浄水課 水質グループ ☎781-8589